

平成28年度 伊豆急ケーブルネットワーク

第7回番組審議会 議事録

日 時 平成28年9月27日(火) 午後4時～午後5時20分

場 所 株式会社伊豆急ケーブルネットワーク本社事務所 会議室

番組審議会委員

出席者 市川 幹夫 委員 (副会長)
磯川 義幸 委員
佐藤 文彦 委員
杉山 由記 委員
榊原 大太 氏 (鈴木俊光委員代理出席)

欠席者 前田 宗宏 委員 (会長)
松宮 芳枝 委員

会社側

番組審議会事務局

塚本 昌哉 (取締役メディア事業部長)
岩本 互 (メディア事業部 担当部長)
平井 秋洋 (" 課長)
大川 裕 (" 主任)

陪席

奥村 力 (代表取締役社長)
三井 大峰 (経営企画部長)

議 題

- (1) 次期役員(平成28年10月1日からの会長・副会長)の選出
- (2) 前年度審議番組についての振り返り(反映報告)
- (3) 対象番組についての審議

- (1) 役員(会長・副会長)の選出について
事前に再任の了解を頂いたすべての委員のなかから、互選により前田委員が会長に、市川委員が副会長にそれぞれ再任された。

(2) 前年度審議番組についての振り返り

前年度審議対象番組 「お悔やみ情報」
「ニュース内日替わりコーナー」

昨年度の審議内容を振り返り、VTRで確認した。以下報告内容。

- ・お悔やみ情報の営業展開は。
⇒現状のところ葬儀関係者の協力はいただけていないため通夜・告別式の情報は入れていません。
- ・お悔やみ情報の放送回数が多いのではないか。
⇒情報更新が頻繁でないため、1日7回→4回に変更しました。
- ・お悔やみ情報のBGMが暗い。クラシックにしたらどうか。
⇒審議会翌週より曲を変更。ドビュッシー「月の光」を使用しています。
- ・お悔やみ情報の東伊豆の故人の住所に番地がない。
⇒現在はすべて統一して、番地も入れています。
- ・ニュース内日替わりコーナー、新生児紹介で性別が判るようにならないか。
⇒男女を文字色で判るようにしました。難しい名前の読み方が多いため、ふりがなをいれました。

(3) 対象番組についての審議

審議対象番組 「完全アポなし撮って出しTV！見聞まま」
放送内容 湯河原・熱海・伊東・東伊豆のIKC放送エリアに住む人々の
「飾らない普段着な今」を紹介する15分間のインタビュー番組

事務局が用意した過去のVTRを視聴し、審議が行われた。以下審議内容。

【委員からのご意見・ご質問】

- ・取材拒否されたことはあるのか？
⇒あります。お声をかけた一人目で成功することもあるし、半日全く空振りのこともありました。

・対象者の名言、心に残った印象的なセリフを、最後にテロップで紹介しては？
⇒参考にします。

・キー局の同様のインタビュー番組と比較すると厳しい。
・インタビュアーの力量が問われるのでは。
・インタビュアーはかしこまらず、されど馴れ馴れしくないような聞き方を。
⇒見聞ままのインタビュアーは4者4様。
番組の成長はスタッフの成長でもある。精進します。

・カット映像を多用し、見ていて飽きない工夫を。
⇒今回視聴いただいた回も、撮影翌日自宅を訪問し追加撮影を行いました。
番組の幅を広げる意味でも、積極的に取り組んでいきます。

・各回の共通テーマはあるのか。共通の質問をすると個性がでるのでは。
⇒共通テーマはありません。その時その人の最も魅力的な話を聞きだすのが醍醐味と
考えています。

・伸びしろのある番組と感じた。
・15分といわず、30分の番組にしたらどうか（と思うくらい面白い）。
・事前に出演者と打合せをしたうえでの撮影だと思っていた。
・各委員の期待値の高さを感じる。ぜひ頑張ってもらいたい。
⇒率直に「面白い」というお言葉は、励みになります。
我々のご出演いただいた方を「見聞ままファミリー」と呼んでおり、いずれ出演者を
集めた感謝祭をやりたい、などと考えています。

・他の市町の方でも見たくなるような工夫を。新聞のラテ欄にその回ごとのキャッチコピーを入れてはどうか。
⇒検討します。

・歩いて撮影するシーンでカメラの映像がぶれ、気分が悪くなる。
⇒安定した画作りを心がけます。

その他

三井経営企画部長より、IKCが1年間取り組んできた活動の報告

- ①全国CATV向けの地域文化発信番組「食JAPAN」の制作
- ②BCP(事業継続計画)の一環として、宮城県の気仙沼ケーブルネットワークと災害時相互協力協定を締結
- ③東急パワーサプライと提携し、電力販売を開始。

塚本取締役メディア事業部長より、美しい伊豆創造センターより受注した「伊豆半島紹介映像制作業務」が進行中であることを報告。

以 上